

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 豊橋市立栄小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒441-8105  
愛知県豊橋市北山町字東浦46番地の4

E-mail sakae-e@toyohashi.ed.jp

Website www.sakae-e.toyohashi.ed.jp/

児童生徒数 男子 445名 女子 386名 合計 831名 (2月1日現在)  
児童・生徒の年齢 7歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容について

本校では、ESDの目的を「友達との学校生活、地域の人々の生活や行事・文化などに触れる体験を通して、友達や地域の人々とかかわりながら自らを高め、生涯にわたり持続可能な社会づくりに寄与できる資質や能力の基礎を育てること」ととらえている。

他とかかわり合うためには、コミュニケーション能力・表現力が必要である。本校では、「お話タイム」において、友達の話をしっかり聞く態度、自分の考えをわかりやすく伝える能力の育成に努めている。また、各教科の授業では、話し合い活動を組み込み、子どもたちが自分の考えをしっかりともって課題解決のために議論できる力を培っている。そして、児童会活動や学校行事、生活科や総合的な学習の時間での体験活動を通して、授業で培われた能力を確かなものにすることを目指している。とりわけ、生活科や総合的な学習の時間では、地域を学びの場として積極的に活用している。あわせて、子どもたちに、地域の行事への参加を呼びかけている。これらの学習や活動を通して、子どもたちは友達や地域の人々と深い絆を築き、社会の一員として地域社会に貢献できる人材としての資質を培っていく。

そのために、以下の活動を設定し、本年度実践した。

#### (ア) 国際理解学習での学び

国際理解につながる学習を計画し、個々の人格の発達や人間性を育んだ  
・朝の活動の時間を活用した「お話タイム」の実践（全学年）

教師や児童の提案する話題について、各学級で自由に話し合いを行った。話し合いの基礎となる話形の習得や自分の思いをわかりやすく伝える力、友達の話真剣に聞く態度を養った。

・話し合い活動を重視し、共に学び合い自らを高め合うことのできる授業の実践

各教科・領域において、話し合いによる課題解決の場を設定し、自分の考えをもって、思いを伝えたり友達の考えを聞いたりしながら、自分の考えをより確かなものにしたり、高めたりするよう努めた。

・「英会話」活動の充実、発展（3年生～6年生）

本校では、3・4年生にスクールアシスタント、5・6年生にALTの英語教師の協力を得て、「英会話」活動にも力を入れている。日常生活の具体的な場面を想定して、子どもたちは身近なことや自分のことを相手と伝え合い、英語でのコミュニケーションを楽しんでいる。多くの国の人々と交流を図った。将来、子どもたちが国際社会で活躍できる素地が養われることを期待している。



お話タイム（6年生）

#### (イ) 福祉体験学習での学び

図書館ボランティアの方の話聞き、身近できる体験を通し、共生の意識や自分たちにできることを考え実践する姿勢を育てた。

・総合学習「心のバリアフリーを感じよう」の実践（５年生）

車いすの乗り方や押し方を体験する「車いす体験」では、校内や校区を車いすに乗って動かすことを経験した。体験を通して、日常気にとめないことに不便を感じる人がたくさんあることに気づいた。少しの段差が車いすにとっては大きな障害となることがわかり、誰でも過しやすい環境作りを考えることができた。また、重りを体につけたり、目隠ししたりして、体の不自由な人の体験も行った。不自由さを体験したことで、階段の登りにくさや見えない恐怖などを肌で感じる事ができた。



不自由さの体験（５年生）

(ウ) 環境教育・食育での学び

地域の環境に目をむけ、節電やゴミを減らす大切さに気づけるような実践を行った。

・総合学習「環境サミット in 栄」（４年生）

身近な無駄について調べた結果、電気をつけっぱなしにしていることや、必要以上にゴミが多いこと気づいた。環境サミットを開き、意見交換したのち、今後１０年間実践していく宣言を考え、各学級の環境宣言を決定した。学習発表会では学んだことを発表した。



環境サミットの様子



環境サミットで宣言する児童

・生活単元学習「たくさん収穫、たくさん販売」（特別支援学級）

本校の特別支援学級では、野菜を職員に格安で販売し、その売り上げの中から遠足用のおやつを購入できることにしている。たくさん販売できれば、その分自分たちの頑張りが売り上げとして目で見えるようになっていく。そこで、どうしたら野菜がたくさん収穫できるのか考え、野菜を育てて、収穫、販売、売り上げから購入という一連の流れを体験することができた。育てる段階から水やりや草取りに意欲的に取り組み、そのやりたいという子どもたちの思いが収穫量にも表れた。将来の就職につながる貴重な学習の機会となった。



野菜を収穫し、うれしそうな児童



野菜の選別

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）